

図書館だより



2026 年 9 月 1 日

京都市立七条中学校
学校司書 石塚 順子

“月”を眺めて ～ちょこっと歳時記～

秋といえば“お月見”の季節。「今年の“中秋の名月”はいつかな?」と思って調べたところ、9月25日(金)でした。でも、実はこの日は満月ではなく満月となるのは2日後の27日(日)だそう・・・???

～なぜ満月ではないの?～

十五夜とは、新月を1日目とした15日目にあたります。旧暦では7月・8月・9月を秋としていて、この時期の月が1年の中でも最も美しく、その秋の真ん中にあたる8月15日の月を“中秋の名月”と呼ぶようになりました。したがって、十五夜は毎月ありますが“中秋の名月”にあたるのは年に一度だけです。

月が満月になるのは毎回15日ピッタリというわけではないので、15日目が必ずしも満月とは限りません(満月には少し足りないことが多い)。今年は、このずれが2日となるんですね。

その他にも、月の呼び名にはいろいろあり、その意味も風情があっておもしろいですよ。



今月は“月”に関する本のコーナー(例:『月の満ちかけをながめよう』など)を設けたので、この秋、月についていろいろ探究してみてください。

※歌手の松任谷由実さん(←皆さん、知ってるかな)の歌に

♪14番目の月♪ という歌がありますよ。(“荒井由実”時代の歌)

夏休み明け 新着本より

興味のある本を見つけたら、ぜひ手に取ってみてくださいね。

